

JF 日本語教育スタンダード
Part4 ポートフォリオを理解する

理解確認クイズ

◆JF 日本語教育スタンダードが提案するポートフォリオについて、下の文の内容が正しければ○、正しくなければ×を（ ）に書いてください。

Q1 ポートフォリオとは学習を自己管理するためのツールである。（ ）

Q2 ポートフォリオは日本語学習だけの学習情報を管理するものである。（ ）

Q3 ポートフォリオは自律的な学習者のためのものなので、教師から渡される成績表は必要ない。（ ）

Q4 ポートフォリオには、紙に印刷したものだけを保存するので、学習の成果であっても音声資料は必要ない。（ ）

Q5 ポートフォリオの長所は、学習情報を学習者、教師、関係者が共有できることである。（ ）

Q6 ポートフォリオは学校の中だけで使うのではなく、学習者が友人や職場の人たちにも見てもらい、自分の日本語学習の様子を知ってもらうことができる。（ ）

Q7 自分の学習成果や学習プロセスをふり返ることで、学習者が自信を持ち、さらに学習したいという気持ちを強くすることが期待できる。（ ）

Q8 ポートフォリオはたくさんの学校で同じ内容、書式を使ったほうがよい。（ ）

JF 日本語教育スタンダード

Part4 ポートフォリオを理解する

理解確認クイズの答え

Q1 ○

Q2 × JF スタンダードが提案するポートフォリオは日本語学習だけでなく、異文化理解に関する学習情報も含まれます。

Q3 × 成績表や修了証明書なども、ポートフォリオの大切な学習情報です。

Q4 × 録音録画したスピーチなどの電子データは別の媒体に保存し、学習成果の内容一覧（目次）に記入しておきます。紙媒体ではなく、E-ポートフォリオを使う方法もあります。

Q5 ○

Q6 ○

Q7 ○

Q8 × ポートフォリオは教育現場に合わせて柔軟にデザインしましょう。